授業日　６月１５日（火）５・６時間目

学習目標

日本の国防について客観的な知識を身につけ、

自分なりの考えを持てるようになる【１】

…　自衛隊の歴史・現在の状況の把握を通して　…

※　夏休みＦＷ（海上自衛隊横須賀地方総監部・防衛省訪問）に向けて

授業内容

◇「防衛大学生をぼくらの世代の若い日本人の一つの弱み一つの恥辱だと思っている。そしてぼくは、防衛大学の志願者がすっかりなくなる方向へ働きかけたいと考えている」（大江健三郎…ノーベル賞作家…）の言葉を通して、終戦後間もない時期に自衛隊が置かれていた状況を認識し、その状況について議論する。

◇　日本陸海軍の階級と自衛隊の階級を比較して、その連続性を確認する。

◇　「自衛隊（防衛問題）に関する世論調査」（内閣府・政府広報室）の、昭和４４（1969）年と平成２９（2017）年の調査結果を比較し、自衛隊に対する国民の意識の変化を確認する。

◇　自衛隊の活動について、国民から最も認知されている災害派遣と、国民の認知度の低いスクランブル発進の状況について、客観的事実を確認する。

◇　自衛隊に関して、国民の認知度が高くない防衛大学校卒業生任官問題と治安出動について、新聞記事等を通して客観的に認識する。

◇　自衛隊(国防)のあり方・位置付けを考える前提として、日本国憲法の理念を確認し、自衛隊が憲法９条でどのように位置づけられているか確認する。

◇　各学習活動において、「自衛隊資料①」に対して学習者が思考・認識した内容を、相互に評価・議論させた。（事実だけを暗記すること、指導者の認識内容を押しつけることを避けることに留意した。）

評価方法

◇「自衛隊資料①」に対して、自己が思考・認識した内容と他の学習者が思考・認識した内容（自衛隊資料②参照）を相対化して評価し、議論の中で比較し認識レベルを更に上げられたかを評価基準とする。

宿題指示

◇　ワークシート①を完成して、自らの学習活動を振り返り、認識を複眼的にする。